

2020年6月5日(金)

ユーク  
なラ  
ツミ  
イ

# 会社説明会

【2020年3月期決算説明と中期経営計画】

証券コード:4531



有機合成薬品工業株式会社  
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

## I. 会社概要

## II. 2020年3月期決算と 前中期経営計画の総括

## III. 2020-22年度 新中期経営計画

# I. 会社概要



会社名 有機合成薬品工業株式会社(YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.)

設立 1947年(昭和22年)11月4日

資本金 34億7千1百万円

上場区分 東証一部

事業所 本社 東京都中央区日本橋人形町

東京研究所 東京都板橋区坂下

常磐工場 福島県いわき市常磐西郷町

従業員数 309名(2020年3月31日現在) 子会社 37名



## 企業理念

わが社は  
内外のあらゆる技術を駆使して  
人の役に立ち  
人によろこばれるものを創る

創業（1947年）以来、70年以上にわたり  
社会に貢献する化学製品を提供しております

# 3つの事業分野 ~アミノ酸、化粧品、医薬品~

つなげ  
くらし



つなげ  
みらい



つなげ  
いのち



## II. 2020年3月期決算



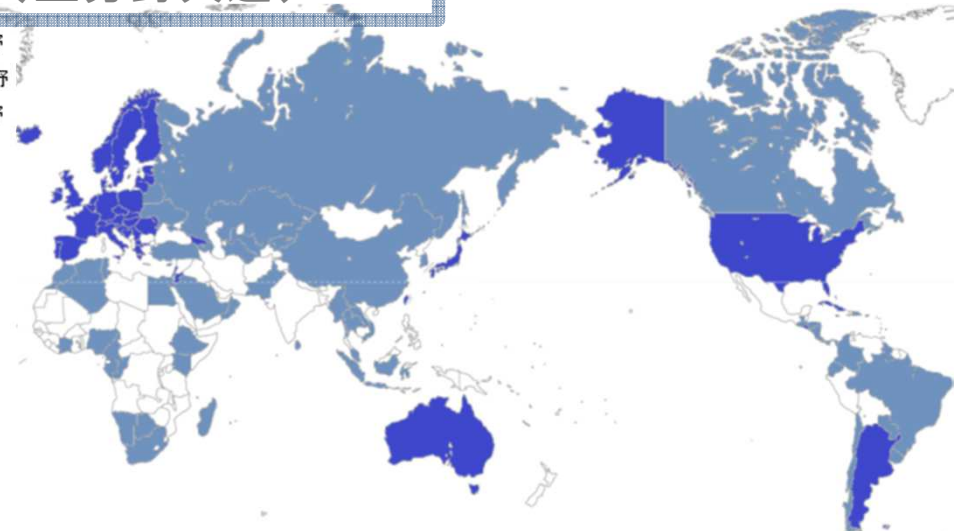
単位：百万円

	2020年3月期	
	計画	実績
売上高	10,900	10,717
アミノ酸関係	4,190	3,485
化成品関係	3,355	3,334
医薬品関係	3,355	3,897
営業利益	140	312
経常利益	180	401
当期純利益	90	△42

- ※ 過去最高の売上高更新
- ※ 水災被害により特別損失が発生

# 総括～課題

1. 高品位アミノ酸分野のトップシェア維持・拡大
  - 売上は現状維持も、マーケティングは充実
  - アミノ酸の機能開発
2. 医薬品分野の拡充
  - 新製品開発を中心に売上拡大、1年遅れで中計達成
  - 販売拡大に伴い、原薬製造設備を新設
3. コスト高と競争激化による利益圧迫（全分野共通）



## 総括～課題

1. 高品位アミノ酸分野のトップシェア維持・拡大
  - 売上は現状維持も、マーケティングは充実
  - アミノ酸の機能開発
2. 医薬品分野の拡充
  - 新製品開発を中心に売上拡大、1年遅れで中計達成
  - 販売拡大に伴い、原薬製造設備を新設
3. コスト高と競争激化による利益圧迫（全分野共通）



## 課題

1. 米国アンチダンピングの逆風に耐える戦略
2. アミノ酸ビジネスの充実（顧客へのアプローチ）
3. 新原薬製造設備の有効活用
4. 利益の創出



# Ⅲ. 2020-22年度 新中期経営計画

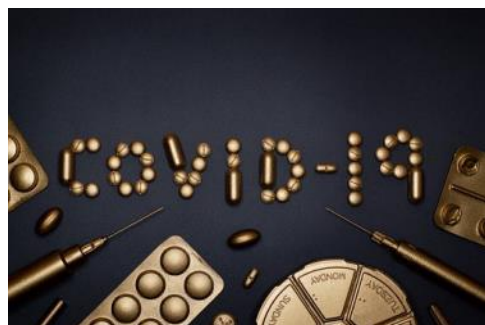


## 社会変化の予測

- ・ ライフスタイルの変化
- ・ グローバル経済の動向  
他国との関係（貿易）
- ・ ヘルスケアビジネスの動向
- ・ 素材産業構造の変化
- ・ 異常気象／病原体の猛威



- 新しい経済常態・生活様式を捉えるスピード感
- 健康維持でQOL向上（予防）
- 安定供給の重要性
- 時代に合わせた事業構造改革
- 解決力のスピード





## 中期経営計画

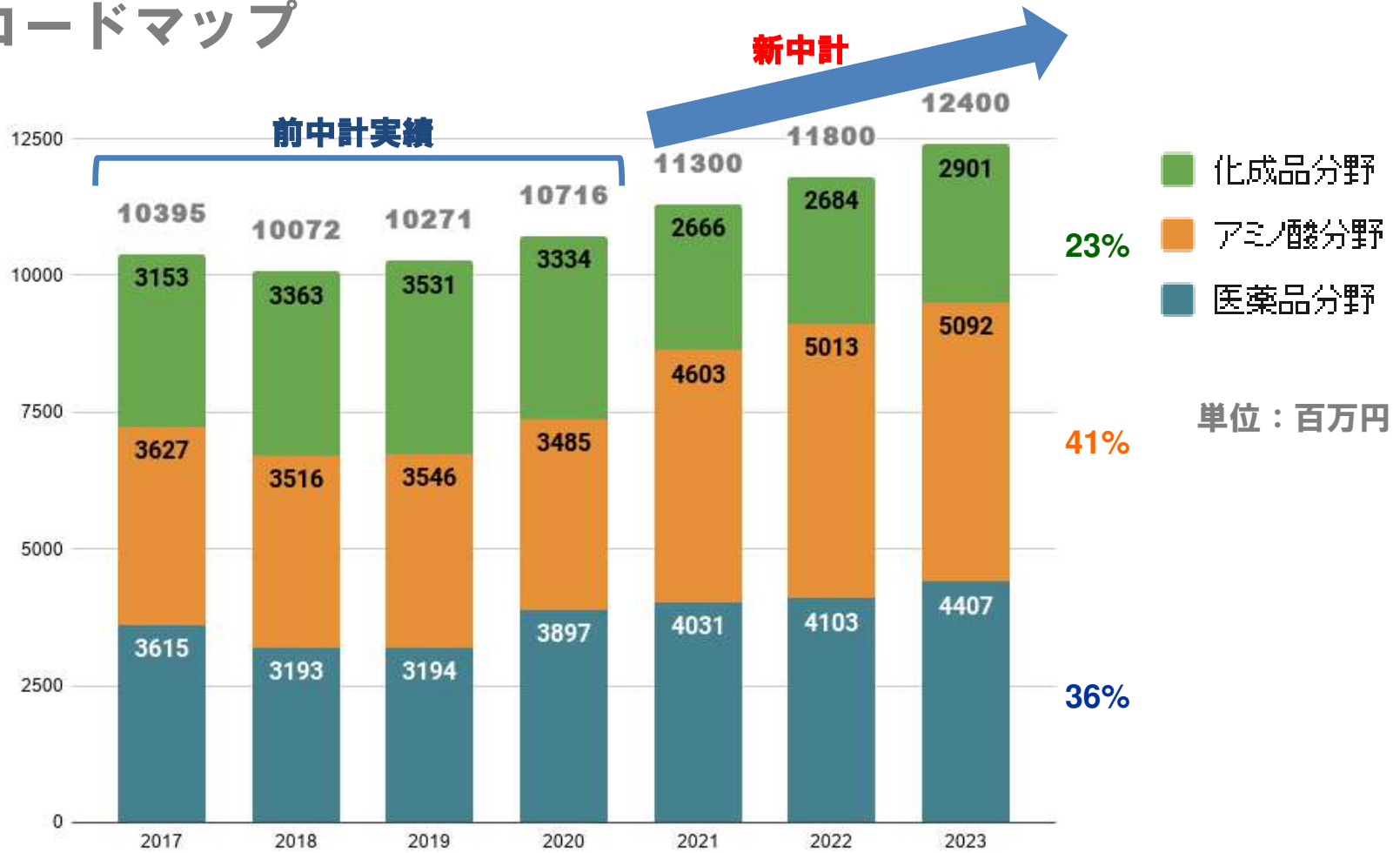
単位：百万円

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	11,300	11,800	12,400
アミノ酸関係	4,605	5,015	5,100
化成品関係	2,665	2,685	2,900
医薬品関係	4,030	4,100	4,400
営業利益	250	370	430
経常利益	220	330	400
当期純利益	160	180	220

※ 設備投資金額：3年間で20億円

※ 研究開発投資：3年間で12億円

# 中計ロードマップ





## 2020-22年度 中期経営計画の重点施策

- 1 アミノ酸事業の再生・再構築
- 2 化成品分野の基盤強化
- 3 新規医薬品設備の活用、新製品開発体制の拡充
- 4 クオリティーカルチャーの向上
- 5 働き方改革と人材育成

# 1. アミノ酸分野の事業戦略 ~アミノ酸事業の再構築~



## 事業継続性の強化

設備投資 : 更なる品質向上を目指したレベルアップ

パートナーシップ : 他社との協業による市場開拓

研究開発 : 研究成果と他社とのコラボレーション



# グリシン

用途

調味料、着色料、サプリメント  
ペットフード、日持ち向上剤  
医薬品、農薬原料、工業用

重点  
施策

オープンイノベーション  
アンチダンピング対応  
市場・顧客のニーズに沿った販売  
有力顧客へのプレゼンス維持  
FSSC22000の取得

## ◆当社のターゲット



農薬原料用途以外のグリシン市場は30,000t  
その内、高品位グリシンは20,000t  
→高品位とネットワークを駆使し世界市場での  
メジャーポジションを強固にする

## β-アラニン

用途とコンセプト

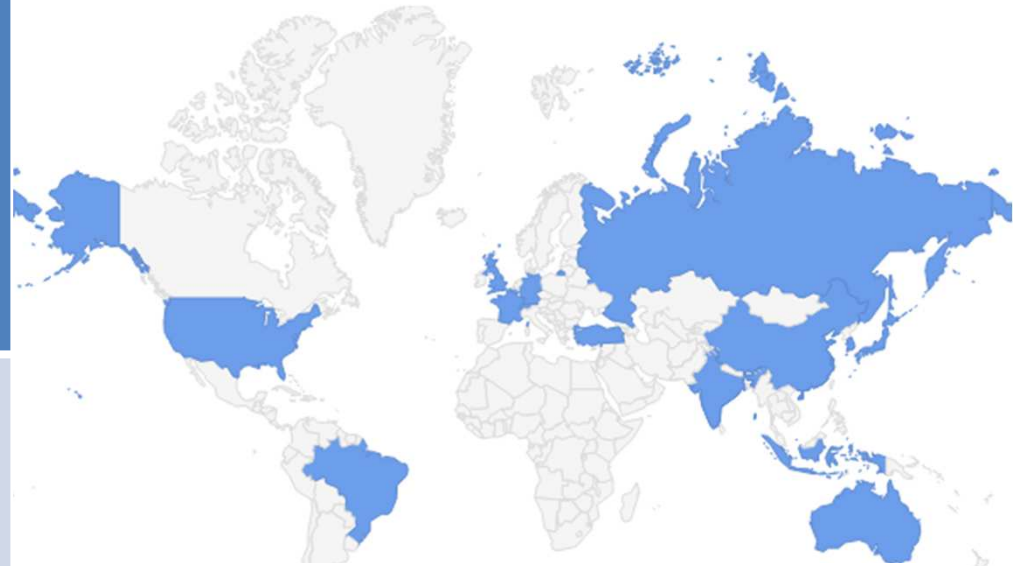
用途：医薬品、ビタミン原料  
サプリメント

活力ある高齢化社会へ  
トレンド志向ではなく、日常生活に  
溶け込み、根付く、商品設計

重点  
施策

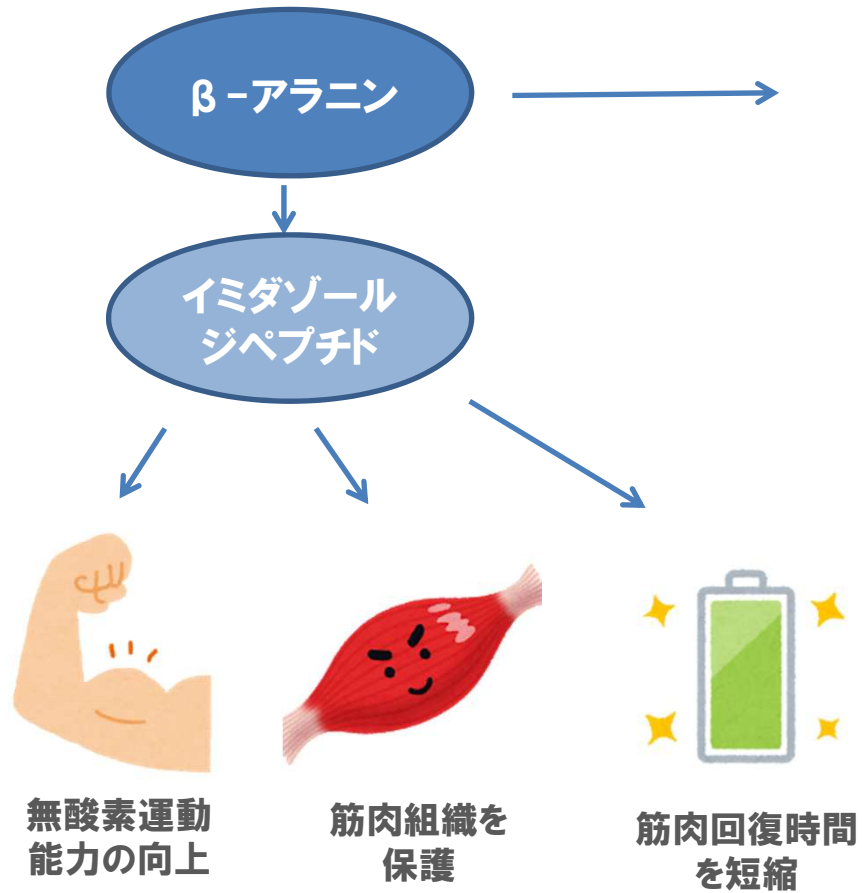
オープンイノベーション  
新規用途開発(特許化)  
マーケティング強化  
FSSC22000認証取得  
設備増強

### ◆パートナーシップとマーケティング強化



取引先とのパートナーシップ強化  
グローバルマーケティングの拡充  
新規開拓

# β-アラニンの機能



## 新規機能・用途開発



代謝向上



脂肪燃焼



アンチエイジング  
STAY HOME対策



## 2. 化成品事業の戦略 ～化成品分野の基盤強化～



### 市場プレゼンスの維持(安定供給)

研究開発 : モノづくりの効率化(技術の有効活用)

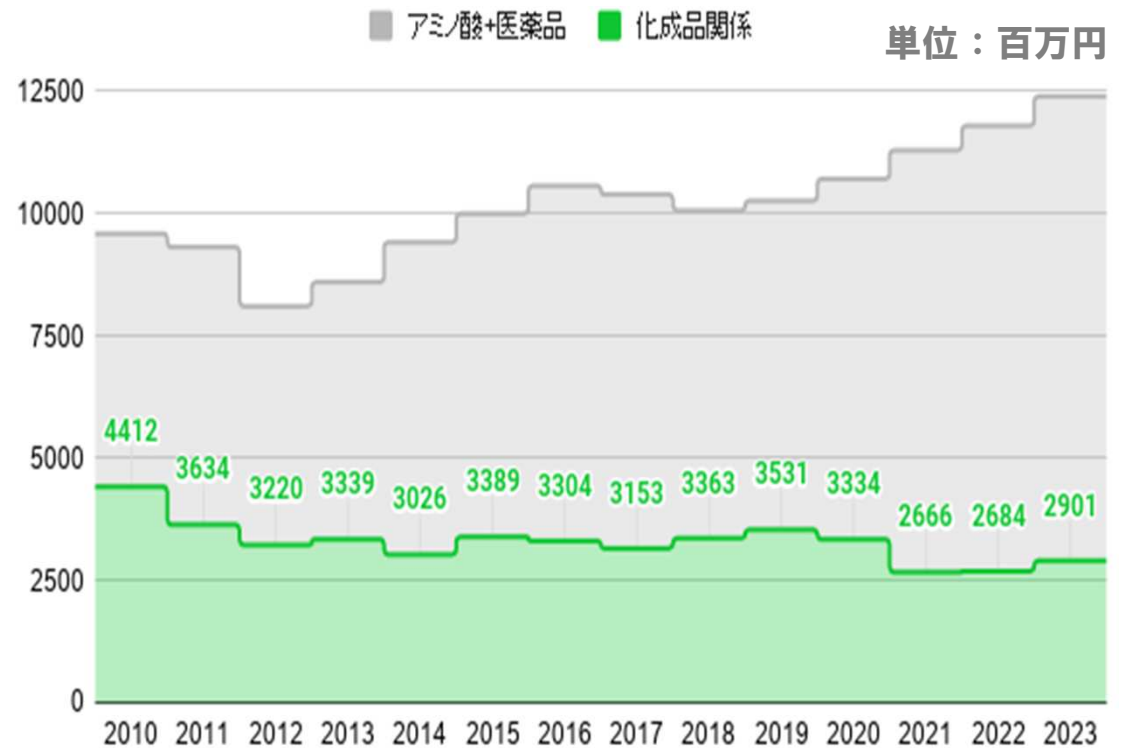
マーケティング : 新製品開発と市場開拓へのチャレンジ



# 持続可能な事業構造改革

ユニークな製品に特化

- 選択と集中
- アジア圏でのマーケティング
- 新製品開発へのチャレンジ



### 3. 医薬品分野の事業戦略

～新規医薬品設備の活用、新製品開発体制の拡充～

付加価値最大化へ柔軟に対応

ポートフォリオ戦略 : 協業パートナー及び品質保証システム

研究開発 : 新製品開発体制の強化

マーケティング : 新原薬製造設備の有効活用



# 医薬品分野の売上拡大

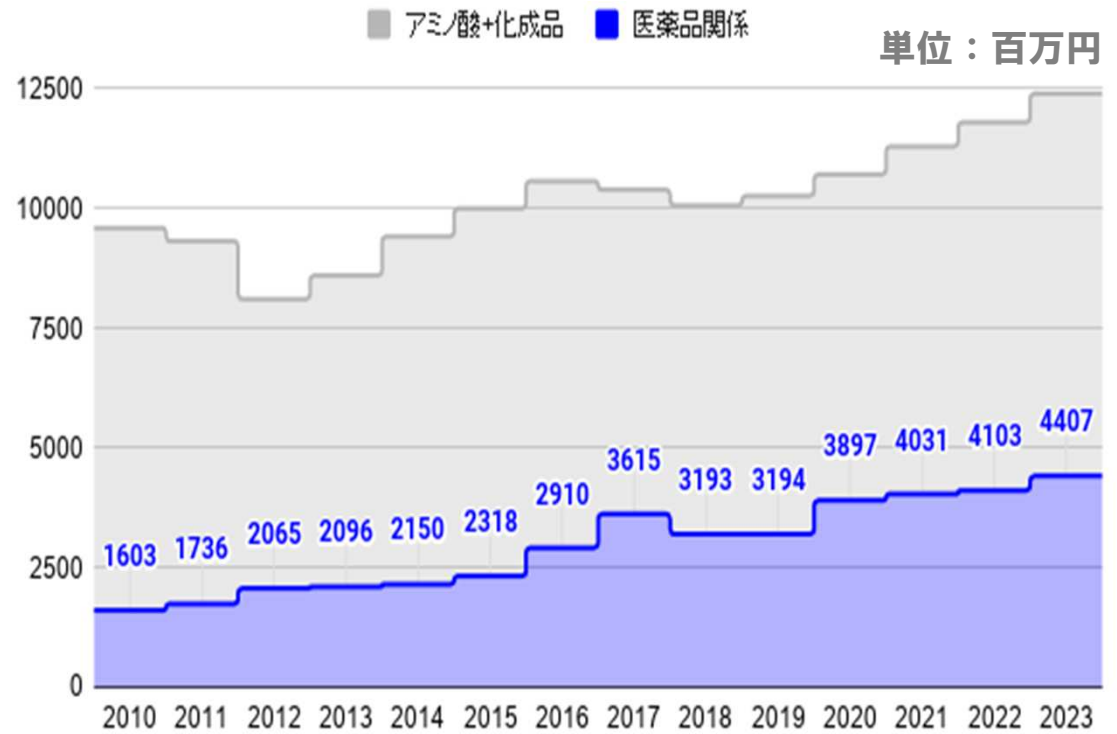
～事業構造改革の実現～

市場シェア拡大

硫酸プロタミン  
イソニアジド  
トリフルオロチミジン  
グリシン  
ジェネリック原薬  
原薬受託

重点戦略

選択と集中  
事業ポートフォリオ拡充  
オープンイノベーション



## 医薬品分野の長期的戦略 『研究テーマの成功確率を上げる』

選択と集中  
 テーマ導入時の  
 透明性、説明責任



事業ポートフォリオの拡充  
 人材教育への投資  
 新原薬製造設備  
 品質保証システム強化  
 DI対応機器



オープンイノベーション  
 パートナーとの協業  
 ノウハウの蓄積  
 新たな特許戦略



## 新原薬製造設備の有効活用



2018年5月28日に竣工  
最新の製造管理システム  
原薬製造規模30%アップ



## 4. クオリティカルチャーの向上



**「お客様にご満足いただける  
製品やサービスというのは、  
製品品質だけではなく、  
組織と個人の信念・行動」**

## クオリティカルチャーの向上

**人材育成(教育機会の充実)、継続的改善**

**設備投資 : データインテグリティ対応**

**目的 : 社会貢献に根ざした魅力的会社**







クオリティーカルチャーを向上させ  
経営効率を上げると共に  
事業継続性を通して社会貢献を  
実現する

社会貢献  
人材育成  
長期雇用

『クオリティーカルチャー戦略』

## 5. 働き方改革と人材育成



## 働き方改革への取り組み

**基幹統合システムの更新（IT投資、社内システム改革）**

**業務改善**： 一人一人が効率化へのチャレンジ

**業務改善**： パーソナルケア、ダイバーシティ対応



## 人材育成への取り組み

### プロフェッショナル人材教育

人材育成 : グローバルビジネスへの経験

基礎 : コンプライアンス教育

目的 : お客様サービスの向上



## 特別編. 新型コロナによる影響予測



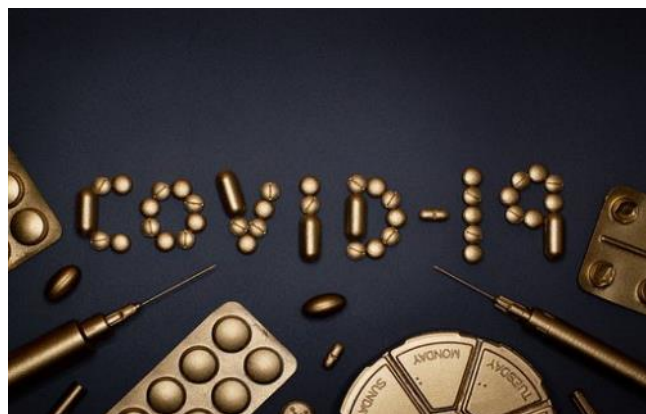
**従業員の安全**

**事業継続性は？**

**安定供給や  
売上への影響？**

## 従業員の安全対策

# 新型コロナウイルスへの当社の取組みについて（2020年4月21日リリース）



## 原材料調達への影響

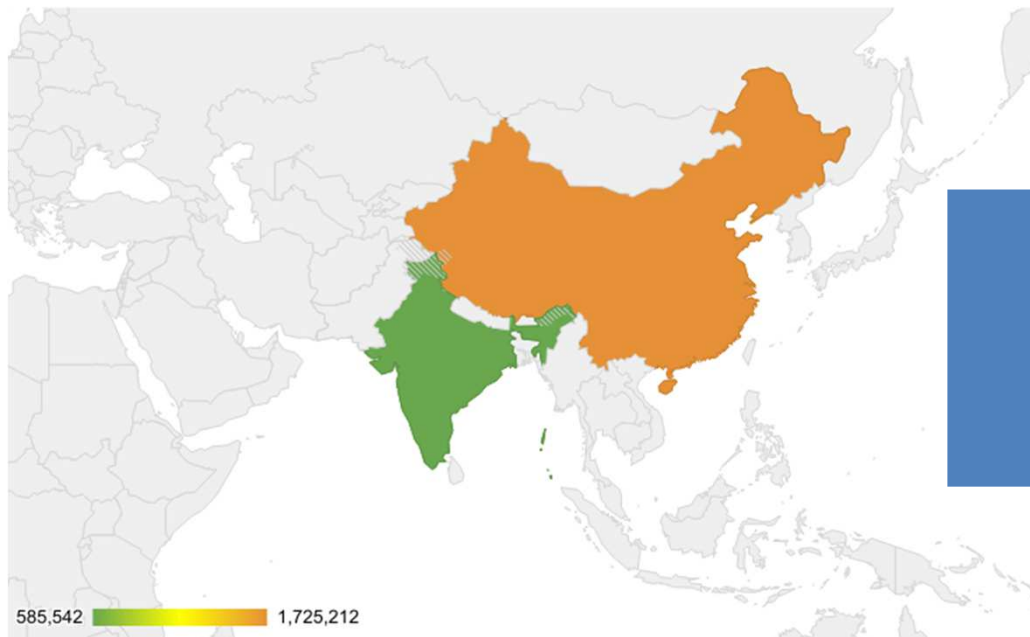
中国・インドからの原材料供給

グローバルビジネスへの影響

## 製品の安定供給

ヘルスケア分野への製品安定供給

食品、医薬品、電子材料、添加物・・・



## 今期売上への影響

マクロ経済収縮による影響は  
売上ダウンのリスクあり

# 2020-22年度の財務戦略







## 中期経営計画

単位：百万円

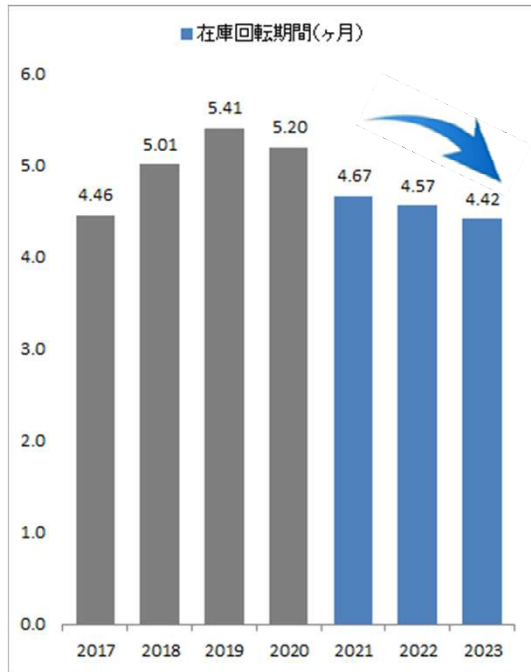
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	11,300	11,800	12,400
アミノ酸関係	4,605	5,015	5,100
化成品関係	2,665	2,685	2,900
医薬品関係	4,030	4,100	4,400
営業利益	250	370	430
経常利益	220	330	400
当期純利益	160	180	220

※ 設備投資金額：3年間で20億円

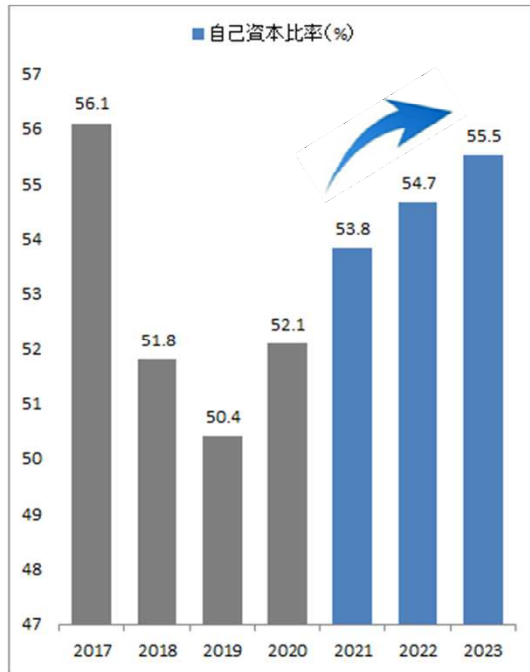
※ 研究開発投資：3年間で12億円

# 過去4年間の結果と中計方針

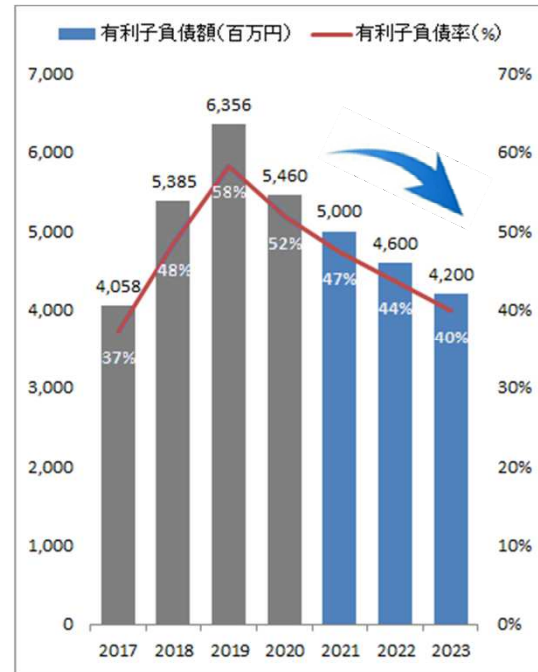
## 資産の効率化 キャッシュ創出力の強化



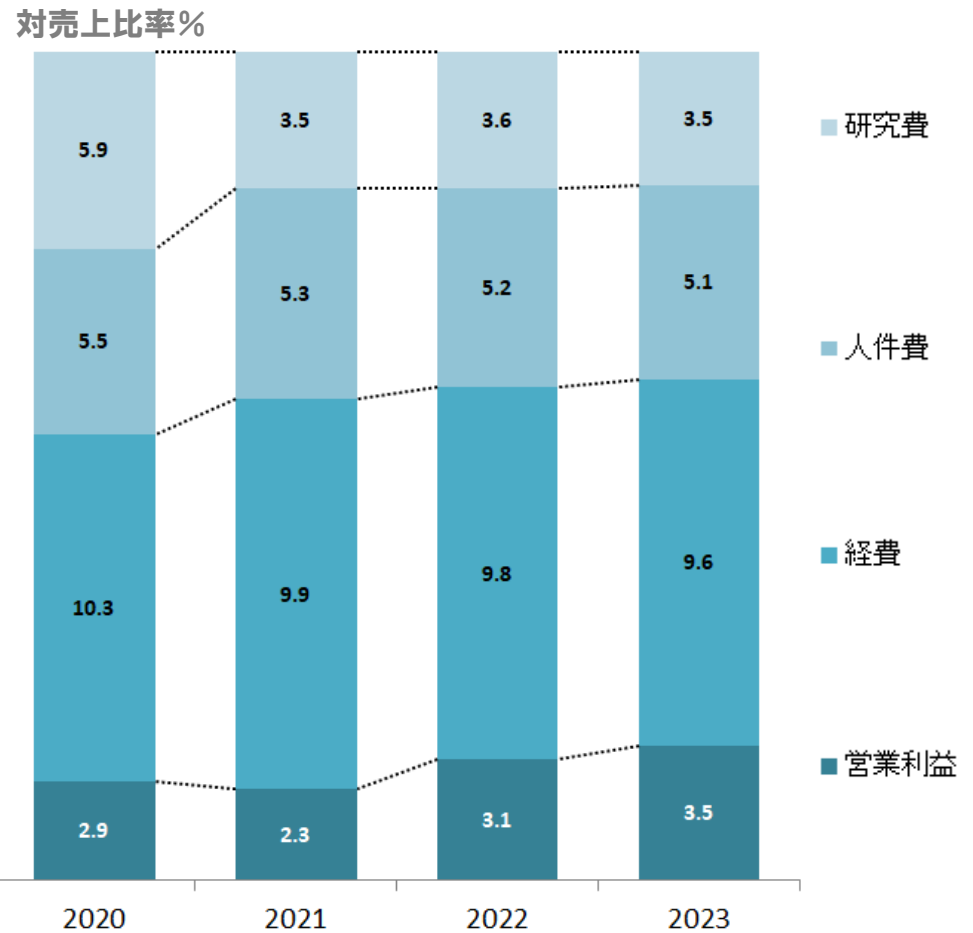
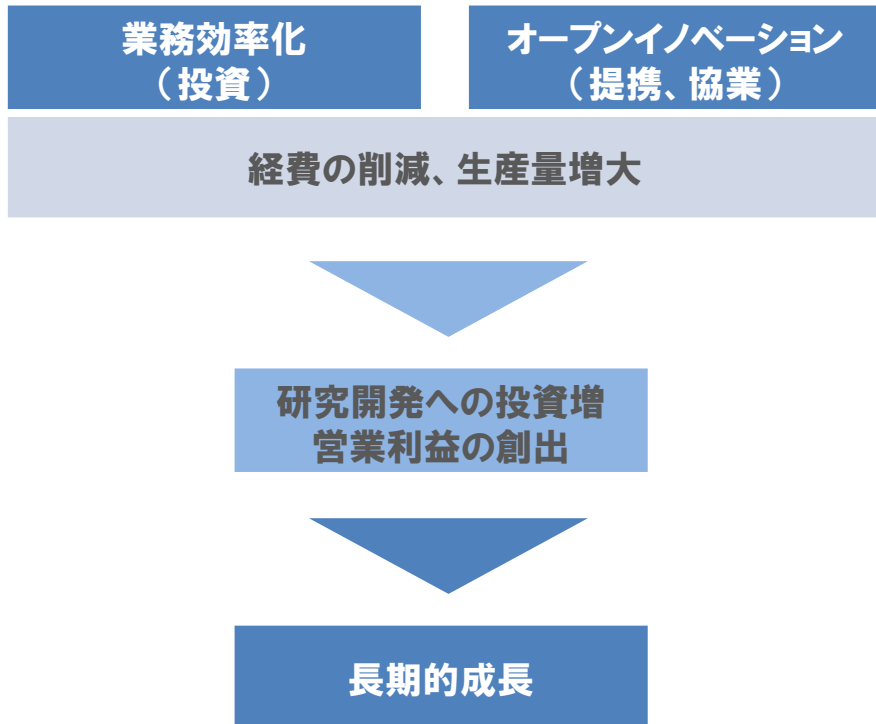
## 負債の圧縮・削減



## 財務健全性の向上



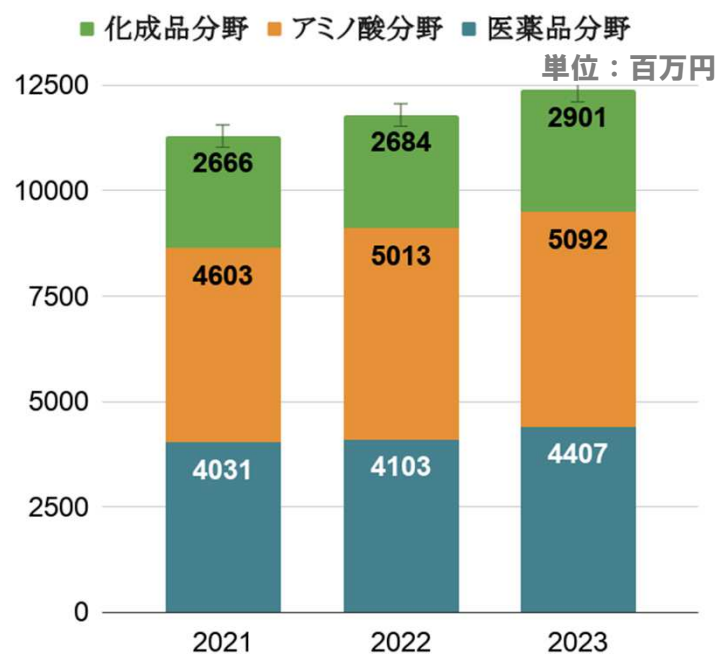
# 収益改善計画



# 中期経営計画まとめ



## 分野別売上高グラフ



## 株主還元方針

長期的な安定成長の実現に伴う、  
長期的な株価上昇  
安定した配当水準の維持  
これらを総合して、トータルリターンの向上

## 基本方針

『激変する経済環境の中、売上・利益の確保という喫緊の課題に対処しながら、新製品の継続的導入と新規用途開発などを離陸させ、  
以て向こう10年間の安定経営に資する礎を築く』



# 有機合成薬品工業株式会社

## YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。  
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。